

公表	事業所における自己評価総括表		
----	----------------	--	--

○事業所名	放課後等デイサービスみのり			
○保護者評価実施期間	2025年12月8日 ~ 2025年12月22日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37名	(回答者数)	19名
○従業者評価実施期間	2025年12月8日 ~ 2025年12月22日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員同士の信頼が厚く、支援について細やかなコミュニケーションを取っている。	どのような考え方、意図で支援をしているのか、それぞれの立場から話し合う場を多く設けている。	<ul style="list-style-type: none"> 日々の児童の様子が非常勤の方へ漏れなく情報が行き渡る仕組みを作り、ミーティングの内容の充実を図る。 非常勤スタッフやボランティアスタッフも含めた話し合いの場を設け、支援力向上を目指す。
2	保護者とのコミュニケーションを重視している。	保護者会を実施し、保護者様の声の抽出に尽力した。日々の送迎引継ぎ時や連絡帳やメール等の連絡手段で細やかな情報共有を行っている。送迎時間などご家庭の事情に合わせてご要望には出来る限り柔軟に対応できるよう努めている。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会に関しては、事前アンケートでニーズを把握しニーズに沿った開催内容にしていく。 ご家庭ごとの、一番適したコミュニケーション方法を摸索し信頼関係の構築に努める。
3	子どもに寄り添い、みのりで過ごす放課後の時間をリラックスできる場にしている。	児童のやりたい事(遊び)を叶える為に、しっかりアセスメントしご本人の満足感+安全に過ごせるよう配慮している。長期休暇には外出を実施しみのりで過ごす中でもバリエーションを豊富にできるよう努めている。	<ul style="list-style-type: none"> 1人1人に合わせた多様な遊びのアイデアを職員間で常に共有を図っていく。 近隣への外出に関しては、事前下見を行う事で安全に楽しく過ごせるよう計画的に行っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の機会が乏しい。	<ul style="list-style-type: none"> 近隣の地域資源のリサーチ不足(学生ボランティア団体や利用できる施設) 時間の制限や人員体制 <p>→日々の支援+aを考えると時間に余裕がある長期休みの実施となる。また余裕のある人員体制で実施を考えると計画的に準備する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今繋がりを持っている学生ボランティア団体や民間の音楽ボランティアグループとの定期的なイベントを継続して開催する。 近隣のスーパーや公園へ外出した際には挨拶を重視し「地域の人と繋がる」事を意識していく。
2	学校との連携が不十分。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者を介して学校の支援計画は提出して頂いているが、お迎え時の引継ぎで共有しきれない事がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 良い点の報告などから発達の情報共有をして、担任の先生と話しやすい交流を図る。 場合によっては学校見学の機会を積極的に作り、学校での様子や学校での支援方法の共有を行っていく。
3	活動スペースに「クールダウンスペース」が設けづらい。	<ul style="list-style-type: none"> 構造上の問題でスペースが限られており「クールダウンスペース」「更衣スペース」などが設けづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> 限られた空間を場面ごとに機能的にエリア分けして状況に合わせた使い方を工夫していく。 相談室内を常に整理して状況によって機能的に使えるスペースとして安全に活用していく。